

# 福塚前遺跡現地説明会

一宮市博物館  
平成 31 年 2 月 23 日 (土)  
AM10:00 ~ AM11:00

## 1. 福塚前遺跡について

福塚前遺跡の存在が明らかになったのは、昭和 46 年、宅地造成工事の時でした。近くの住民が、工事の土取り跡に井戸や弥生土器の破片があることに気づき、博物館の前身である市史編さん室に連絡、そして調査が行われました。当時の調査では、中世の井戸と弥生土器の壺や甕の破片が確認されています。また、この調査の後で、石器や弥生土器の破片が近くの畑の表面から見つかっています。これ以降、今回の発掘調査に至るまでの間、調査は行われておらず、遺跡の詳しい性格はよくわからないままでした。

## 2. 調査の経緯

現在、発掘調査を行っている範囲は、昭和 46 年に遺跡が見つかった箇所からは約 100m 東へ離れています。明治 21 年の地籍図を確認したところ、当時は田が広がる田園地帯で、そのまま現在へと続いているようです (図 2)。ただ遺跡内であること、また市道という半永久的に残る構造物を作るということで、市道の拡幅範囲を何箇所か試掘をし、確認調査を 2018 年 1 月末～2 月にかけて行ったところ、田んぼの下から遺構 (昔の人の生活の痕跡) や遺物が確認され、今回の発掘調査に至りました。

## 3. 調査の目的

市道福塚線拡幅工事に先立ち、開発で遺跡が壊れてしまうため、記録保存を目的とした調査です。調査区は 1600 m<sup>2</sup>あり、南北に 1600m、東西に 100m と縦に長く、中心を市道が通っています。そのため、市道を挟んで東面と西面に調査区を分けて平成 30 年 11 月 5 日から調査を始め、平成 31 年 3 月 31 日までに埋め戻しをもって調査を終了します。



図 1 調査区位置図 (1/2,500)

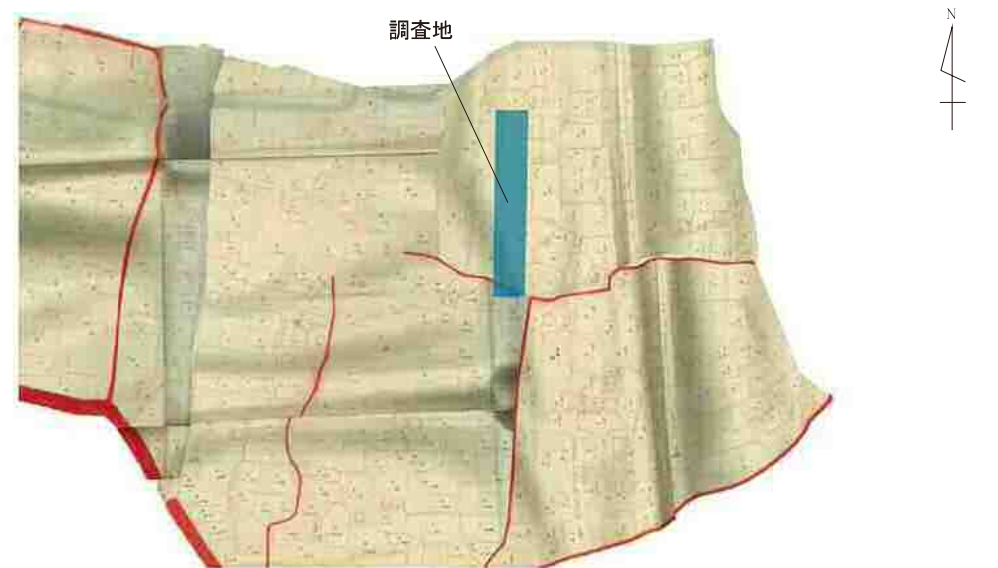


図 2 明治 21 年頃の現場周辺地図 (約 1/2,500)

縄文時代	弥生時代	古墳時代	古代	中世	近世	近・現代
約 12000 年前	約 2300 年前	約 1700 年前	飛鳥時代 奈良時代	鎌倉時代	室町時代 安土・桃山時代	江戸時代 明治 大正 平成
			710 794	1192 1333	1573 1603	1868 2019
			平安時代	室町時代	江戸時代	昭和 ?



①古墳周溝と出土遺物



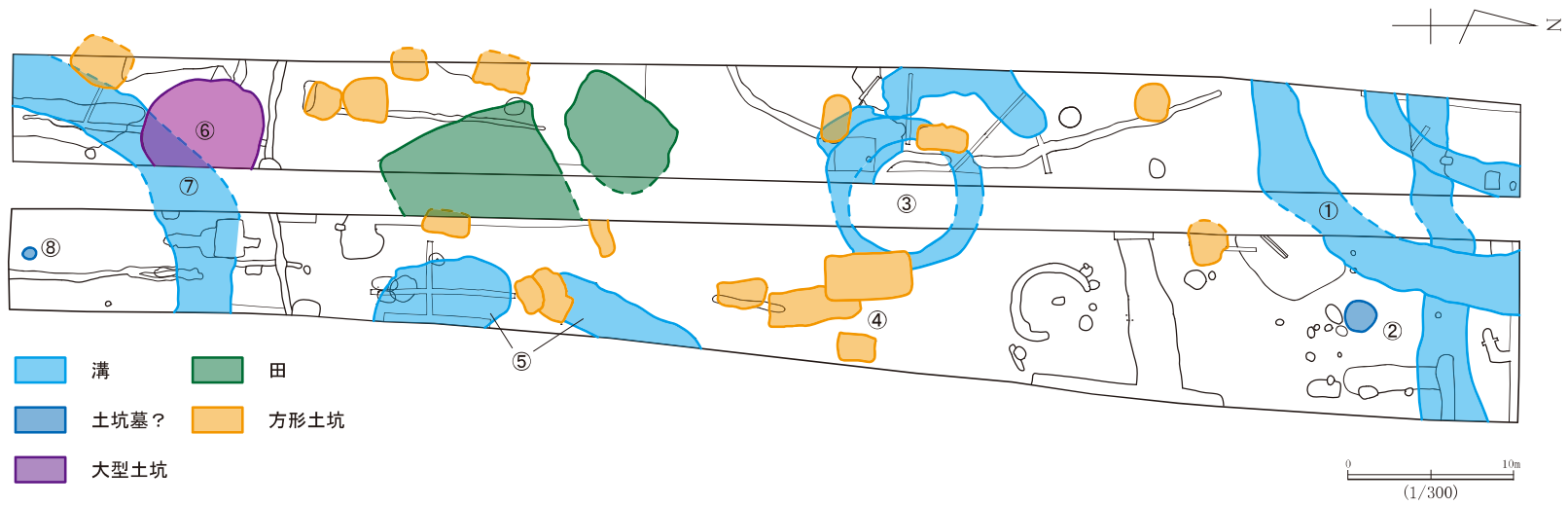
②遺物出土状況と炭化物の広がり



③古墳周溝



④方形土坑群



⑤古墳の周溝か



⑥大型土坑



⑦古墳周溝



⑧炭化材出土状況